

代々木大山公園仮設校舎(仮称)

経緯説明会

— 計画の背景と今後の検討について —

渋谷区教育委員会事務局

令和8年3月30日(月)

1. 開会のあいさつ

2. 関係者紹介

3. 計画経緯説明

- (1) 学校建て替え計画の背景
- (2) なぜ新たな仮設校舎が必要なのか
- (3) なぜ代々木大山公園なのか
- (4) 公園機能・住環境への配慮と今後の検討
- (5) 今後のスケジュール

4. 質疑応答

5. 閉会

(1) 学校建て替え計画の背景

渋谷区教育委員会では、学校施設の老朽化の対策として20年間で区立小・中学校22校の校舎建て替えを計画的に進めています。しかしながら、**近年の建設業界の環境変化等の影響により、新校舎建設に要する工事期間が当初の想定よりも長期化する見込み**となっています。老朽化した学校施設を長期にわたり延伸して利用し続けることは、教育環境の質にも影響すると考えています。

こうした課題に対応するため、区内の複数箇所に仮設校舎を整備し、**複数の学校建て替え工事を並行して進めることで、全体計画の遅延を抑制すること**を基本的な方針としています。

その具体的な対応策の一つとして、仮設校舎を利用する学校の児童生徒の通学環境や敷地条件等を踏まえ、**代々木大山公園の一部**を活用した仮設校舎整備を計画しています。

代々木大山公園に仮設校舎を設置する方針のもと、具体的な配置や規模、公園機能との両立の検討に当たっては、**説明会等を通じて近隣住民の皆様からご意見を伺い**、その内容を踏まえながら計画案を検討してまいります。

(2) なぜ新たな仮設校舎が必要なのか

主に2つの要因があります。

① 工期の長期化

- 昨今の建設市場の状況
- 新しい学校づくりに必要な機能の確保

② 自校内建て替えの課題

- 長期間にわたる教育環境への影響
- 新校舎計画に生じる制約

(2) なぜ新たな仮設校舎が必要なのか

① 工期の長期化

当初の計画：1校3年

過去の事例1 上原中学校 : H18年 約14,000㎡ 地上4階・地下2階 → 1年11か月

過去の事例2 渋谷本町学園 : H24年 約15,000㎡ 地上4階・地下3階 → 2年10か月

➤ 昨今の建設市場の状況

- ・ 建設費高騰に加え、労働者不足、労働時間規制など、建設市況はここ数年で大きく変化し、**他自治体では入札不調**が起きている

➤ 新しい学校づくりに必要な機能の確保

- ・ 教室面積の拡大、ラーニング・コモンズ、体育館、屋内プール等の機能充実



(2) なぜ新たな仮設校舎が必要なのか

① 工期の長期化

当初3年としていた工期が、**5～6年程度に長期化**



当初計画に、現在の各校の想定工期を当てはめた場合・・・

理由1 既存校舎の使用年数が、建て替え目安の80年を超過

理由2 西原キャンパスの利用期間は、当初の15年から約28年に

(2) なぜ新たな仮設校舎が必要なのか

② 自校内建て替えの課題

自校内建て替え・・・ 自校運動場に仮設校舎を建設し、旧校舎の建て替え工事を行うこと

※当初想定 of 自校内建て替え校：上原小・中幡小・臨川小・加計塚小

➤ 長期間にわたる教育環境への影響

- ・ 昨今の建設市況による工期延伸が見込まれ、**校庭を利用できない期間や工事騒音、振動が長期間にわたるため、教育環境への影響が更に大きくなる**

➤ 新校舎計画に生じる制約

- ・ 限られた敷地に仮設校舎を建てると、**新校舎を建てる面積が制限されることで、十分な新校舎規模を確保しにくい**

理由3 自校内建て替えが困難

(2) なぜ新たな仮設校舎が必要なのか

検討により見えてきた主な課題（西原地区）

- 理由1 既存校舎の使用年数が建て替え目安の80年を超過（笹塚中学校・富谷小学校）
- 理由2 西原キャンパスの仮設校舎利用期間 当初15年から約28年に
- 理由3 自校内建て替え困難（中幡小学校、上原小学校）

課題への対応の為に、新たな仮設校舎を検討

1. 広尾小学校の学校プール跡地に仮設校舎を整備する
2. 臨川小学校の新校舎を大きく作り、他校の仮設校舎として使用する
3. **代々木大山公園の一部に仮設校舎を建設する**
4. **笹塚小学校の既存校舎を仮設校舎として使用する**

西原地区は、敷地規模・通学距離をふまえ、
「**代々木大山公園**」と「**笹塚小学校**」を候補地として整理

※この2つの候補地の整理検討については次のページにてご説明します。

(3) なぜ代々木大山公園なのか

候補地整理に当たっての主な判断項目

1. 仮設校舎と必要な学校機能を確保できる敷地規模があるか
2. 利用校の児童・生徒の通学負担が過度にならないか
3. 西原地区全体の建て替え工程の平準化に資するか

候補地

・代々木深町小公園

→仮設校舎と必要な学校機能を確保する敷地規模が不足かつ不整形

・代々木大山公園

→一定の敷地規模があり、利用校との位置関係も比較的近く、西原地区の建て替え工程の平準化に資する候補地として整理

・笹塚小学校

→候補地の一つとして整理したが、上原小学校・富谷小学校にとって通学負担が大きくなるのが課題

・その他の候補地

→仮設校舎と必要な学校機能を確保する敷地規模が不足又は通学距離に課題があり候補外

(3) なぜ代々木大山公園なのか

通学距離の考え方

【通学距離の目安】

小学校： 概ね1.0km以内

中学校： 概ね1.5km以内

		代々木大山公園		笹塚小学校敷地	
笹塚中	候補地から学校の距離	0.73km	○	対象外 ※1	
	候補地から学区内の最長距離	1.40km			
	甲州街道（国道）の横断	有			
上原小	候補地から学校の距離	0.65km	○	1.35km	×
	候補地から学区内の最長距離	1.20km		2.10km	
	甲州街道（国道）の横断	無		有	
富谷小	候補地から学校の距離	1.03km	○	2.01km	×
	候補地から学区内の最長距離	1.70km		2.60km	
	甲州街道（国道）の横断	無		有	
中幡小	候補地から学校の距離	1.00km	×	0.60km	○
	候補地から学区内の最長距離	1.40km		1.00km	
	甲州街道（国道）の横断	有		無	



【参考】 検討図

※1 笹塚小中一貫校となった後の使われなくなった小学校跡地を仮設校舎として利用する計画のため、一貫校化前の小学校を仮設校舎としては利用できません。

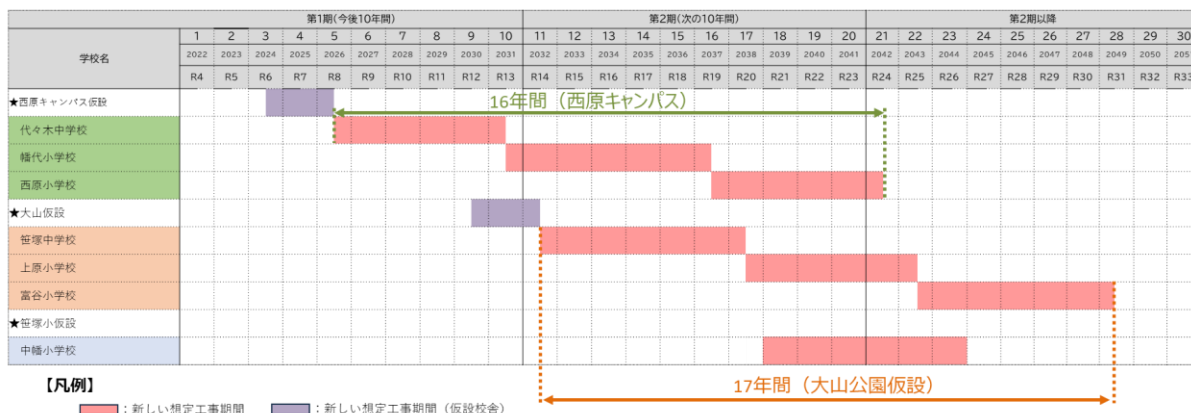
(3) なぜ代々木大山公園なのか

検討結果（西原地区）

西原地区では、新たな仮設校舎を追加することで、老朽化する校舎の長期利用を抑え、建て替え工程を大きく改善します

- ・ 新たに**代々木大山公園仮設校舎**と**笹塚小学校仮設校舎**を使用
 ※代々木大山公園仮設校舎 利用校： 笹塚中学校・上原小学校・富谷小学校
 ※笹塚小学校仮設校舎 利用校： 中幡小学校
- ・ 西原キャンパス利用予定の笹塚中学校と富谷小学校は、**築80年を超えることなく整備が可能**
- ・ **中幡小学校と上原小学校の自校内建て替えを回避**

〈新スケジュール〉



(4) 公園機能・住環境への配慮と今後の検討

【住環境への影響について】

配置や規模の検討に当たっては、次の観点を考慮します。

- ① 景観の連続性
- ② 緑量・植栽の維持
- ③ 開放感・圧迫感
- ④ 日影
- ⑤ 視線・プライバシー
- ⑥ 静穏性（騒音）
- ⑦ 公園として利用できる面積・動線
- ⑧ 防災機能

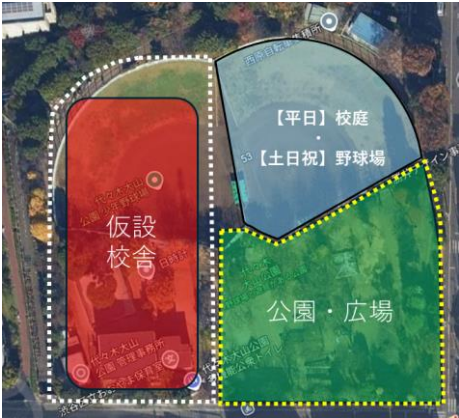
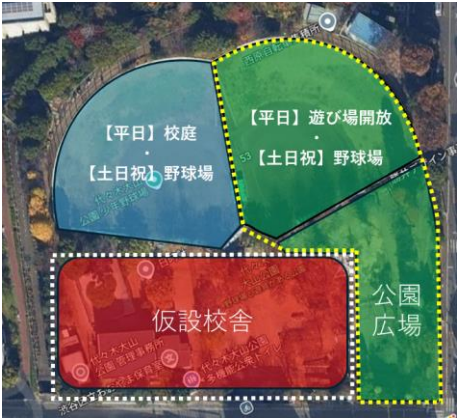
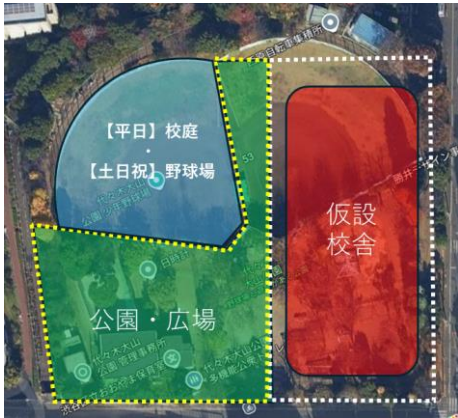
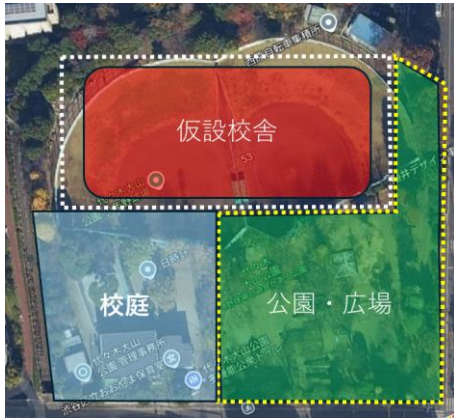
【野球場について】

- ・ 代々木大山公園の野球場は、区内で野球利用可能な貴重な施設であり、現在も2面一体で運営
- ・ 1面を失うと、残る1面に利用が集中し、大会運営や継続的なスポーツ活動機能が大きく低下

代替性・再整備可能性・施設成立性の観点から、現時点では野球場2面と公園機能と継続確保できること基本条件とし、その範囲で仮設校舎の配置を検討します

(4) 公園機能・住環境への配慮と今後の検討

仮設校舎配置について

	A案	B案	C案	D案				
								
公園・広場機能	<ul style="list-style-type: none"> 公園（広場）面積が減る 野球場「遊び場開放」が校庭利用により使用できない 	△	<ul style="list-style-type: none"> 公園（広場）面積が他案と比べて最も小さくなる 野球場「遊び場開放」が水曜日除く平日の日中の利用が可能であり、広場機能を補填する 	△	<ul style="list-style-type: none"> 公園（広場）面積が減る 野球場「遊び場開放」が野球場解体により使用できない 校庭が学校開放で使用できる可能性あり 	△		
野球機能	<ul style="list-style-type: none"> 1面減により、大会運営ができない 	×	<ul style="list-style-type: none"> 大会運営が可能 	○	<ul style="list-style-type: none"> 1面減により、大会運営ができない 	×	<ul style="list-style-type: none"> 野球の利用ができない 	×
仮設校舎機能	<ul style="list-style-type: none"> 西原キャンパスの建築面積を参考、配置が可能 	○	<ul style="list-style-type: none"> 西原キャンパスの建築面積を参考、配置が可能 	○	<ul style="list-style-type: none"> 西原キャンパスの建築面積を参考、配置が可能 	○	<ul style="list-style-type: none"> 西原キャンパスの建築面積を参考、配置が可能 	○

※Google Mapより引用

※上図は、現時点での検討の前提を示すものであり、配置・規模は基本計画で比較検討します。

※野球場2面を継続確保することを基本条件とし、公園機能や周辺住環境への影響をどのように抑えるかを検討します。

※各案について、景観、緑量、静穏性、日影、視線、圧迫感、公園面積、防災機能などの観点から比較し、周辺への影響を考慮した案を整理します。

(5) 今後のスケジュール



令和8年度～令和9年度	基本計画	説明会（予定） 令和8年度 意見交換 令和9年度 意見交換 令和10年度 計画説明会 令和11年度 中高層説明会 令和12年度 工事説明会
令和10年度	基本設計	
令和11年度	実施設計	
令和12年度	工事開始	
令和14年度 ・令和14年度～ ・令和20年度～ ・令和25年度～	工事完了・開校 笹塚中学校 上原小学校 富谷小学校	
令和31年度	閉校・解体	

(6) お問い合わせ先

○計画に関すること

教育委員会事務局 教育政策課 学校施設整備第一係～第三係

電話： 03-3463-2795 メール： sec-gakko-seibi@shibuya.tokyo